



進路・地域支援だより

令和3年12月2日
おかざきろうがっこうしんろ ちいきしえんぶ
岡崎聾学校進路・地域支援部
令和3年度第8号

◆◆ 中学部2年生 職場体験学習 ◆◆

中学部2年生のみなさんが、11月に老人ホームへ職場体験学習に行きました。職員の方に丁寧に教えていただきながら、利用者の方のお手伝いをしたり、一緒にゲームをしたりしました。利用者の方と触れ合いながら、老人ホームの仕事について考えました。



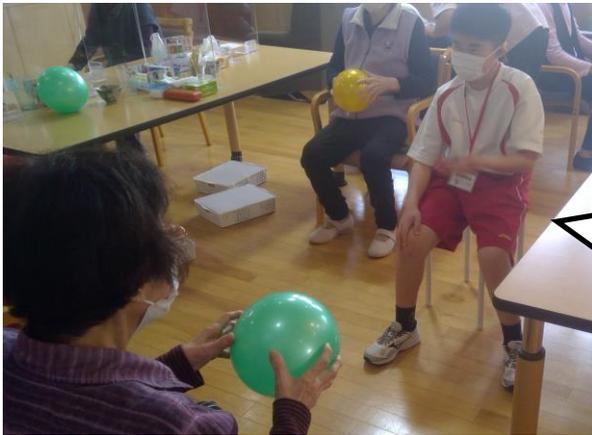
職員の方に、老人ホームの中を案内していただきました。筆談で丁寧に教えていただきました。



利用者の方が使うおしぼりをひとつひとつ丁寧に丸めました。



利用者の方の運動のため、キャッチボールをしました。筆談や身振りでコミュニケーションをとりました。



体験した生徒の話



介助のときに急に動くとうちの利用者の方が驚いてしまうので、声をかけてゆっくり、優しく接しなければいけないということが分かりました。

布団のシーツにしわがあると、利用者の方が腰を痛めてしまうということを知りました。しわのないように敷くことが大変でした。

あなたが体験してみたい仕事はありますか。(高等部の皆さんは、自分が目指している仕事を書きましょう。)

まな 学びのススメ

つか ～メモを使おう！～

みなさんは、普段からメモ帳と筆記用具を持ち歩いていますか。また、人の話を聞いたときに、メモをとる・メモを見るという習慣がついていますか。メモをとるだけでなく、メモを活用する力も身に付けるようにしましょう。

【メモをとる、メモを活用するメリット】

あいてししじひと 相手(指示をした人)

- 書いたメモを見せてもらうことで、正しく伝わったかどうか分かる。



じぶん 自分

- 言われたことを忘れないようにできる。
- 聞いた指示をまとめることで、理解しやすくなる。
- 「しっかり聞いている」「安心して任せられる」と、相手に信頼してもらえる。

【メモを書くときのポイント】

- 必ず日付とタイトルを書く。(日付ごとにページを変えると見やすい。)
- 要点のみを短く書く。(単語や矢印などを上手に使う。)



要点を速く、きれいに書けるようにしましょう！

【メモを上手に活用するために】

- ポケットサイズのメモをいつも持ち、すぐ書けるようにする。
- 書くことをくせにする。
- 1日の終わりにはメモを見返し、終わった内容は消す。

筆談のときも使いましょう！

ほごしゃかた 【保護者の方へ】

ちいきしえんげんば 地域支援の現場より

先日、あひる組2歳児保護者向けの講座「先輩ママの話」に、幼稚園年少保護者の方々が参加してくださいました。日々の生活のこと、絵日記のかき方について等、それぞれの経験も含めてお話をさせていただきました。

参加した2歳児保護者からは

- 家でのやりとりが基本となるのがよく分かりました。このことを忘れずにこれからも過ごしていきたいです。
- 今は言葉をためるための大事な時間なのだと、子どもと接することの大切さを改めて教えてもらいました。



といった感想をいただきました。

また、年少保護者の方々からは、「自分の子どもが2歳児のときに同じ悩みを抱えていたことを思い出しました。」という声がかれました。

先輩ママとの話は、あひる組保護者にとって、今やっておくとよいことや大切なことに気付かせてもらえる機会であり、今後に向けて大きな励みとなる機会でもあります。来年度以降も講座「先輩ママの話」は実施する予定です。幼稚園の保護者の方には、ぜひ御参加、アドバイス等の御協力をよろしくお願い致します。

